

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和7年8月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1) 🏠 地価 東京「一人勝ち」 路線価 8.1%上昇、全国平均の3倍
- (2) 🏠 関西路線価 2.7%上昇 3年連続プラス、上げ幅拡大
- (3) 🐶 少子化時代のペット 小型犬の生涯、15年で272万円
- (4) 🏠 資材価格、4品目下落見通し 7~9月、鉄鋼や合成樹脂
- (5) 🏠 特区民泊 規制強化へ議論 暮らしと観光の両立探る
- (6) ✅ 平均寿命、2024年は横ばい 日本人 女性は世界1位を維持
- (7) ✅ 日本の夏 蒸し暑さ熱帯級 東京の湿度 バンコク超す
- (8) 🚰 水難事故 昼過ぎに多く 25%が午後2~3時台
- (9) 🛠️ とび職や鉄筋工 賃金の通報窓口



(1) 🏠 地価 東京「一人勝ち」

路線価 8.1%上昇、全国平均の3倍

マンション高騰 海外マネー流入

* 2025年の路線価（1月1日時点）で、東京都の標準宅地の平均上昇率は全国最高の8.1%。

*全国平均は2.7%。

*地方や海外から人口が流入し、マンションの需要拡大が続きます。

*東京都の平均上昇率は前年から2.8ポイント拡大。上昇は4年連続。

*2024年度の東京23区の新築マンション平均価格は、前年度よりも11%高い1億1632万円。

路線価 相続・贈与税の算定根拠に

*相続税や贈与税などを算定するため、国税庁が毎年夏に公表する主要道路に面する土地1M2当たりの1月1日時点の価格。

(2025年7月2日 日本経済新聞記事より)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2)  **関西路線価 2.7%上昇 3年連続プラス、上げ幅拡大**

上昇率トップは城崎温泉

*2025年分の関西2府4県の路線価(1月1日時点)は、標準宅地の平均変動率がプラス2.7%。

*3年連続の上昇で、上げ幅は2024年の1.8%から拡大。

*上昇率トップはJR城崎温泉駅前の24.2%。

*府県別の平均変動率は大阪が4.4%と最も上げ幅が大きく、京都は3.7%、兵庫2.0%、滋賀0.5%、

*和歌山0.7%、奈良は1.0%それぞれ下落。

*最高路線価は大阪市北区の阪急うめだ本店前。前年比3.2%上昇の1M²あたり2088万円で、42年連続の最高額。

(2025年7月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3)  **少子化時代のペット**

小型犬の生涯、15年で272万円

*ペットフード協会の調査で、2024年のペット(犬・猫)の新規飼育数は80.3万匹。

*2024年のデータで比較すると、15歳未満人口1400万人に対しペットは1595万匹。

*小型犬の平均寿命は15歳弱まで延びました。

*食費や医療・介護費もかさみ、小型犬の生涯費用は270万円を超えます。

*子供を15歳まで育てる費用は1900万円(内閣府調査)。

(2025年7月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(4) 資材価格、4品目下落見通し

7～9月、鉄鋼や合成樹脂

鈍い需要や原油相場下げ映す

*価格の上昇基調が続いていた産業資材では、7～9月は下落が見込まれる品目が増えてきました。 *主要な産業資材12品目のうち、鉄鋼や合成樹脂など4品目が下がる見込み。

(2025年7月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) 特区民泊 規制強化へ議論

暮らしと観光の両立探る

9割集中 大阪市に騒音・ごみの苦情

- *国家戦略特区で認められた「特区民泊」の規制強化を求める声。
 - *騒音やゴミ出しのトラブルが後を絶たないため。
 - *対象施設の9割超が集中するのは大阪市。
 - *特区民泊は、国家戦略特区に指定された地域で民泊施設の開業規制を緩和する制度。
 - *年間の営業日数や施設規模に制限はありません。フロント設置も不要。
 - *大阪府は2016年、特区民泊を導入。
 - *2025年4月末時点の認定は約6千施設。全国の9割超が集中。
 - *2024年度に受け付けた苦情は556件。
 - *2024年の訪日外国人は過去最多の約3687万人。10年間で約3倍に。
 - *特区民泊は大阪府、東京都大田区、北九州市など8自治体が導入。
- 特区では通年営業OK
- *「民泊」：戸建・集合住宅の部屋などを有償で貸し出すサービス。
 - *ホテルより割安。
 - *旅館業法の要件を満たさない「ヤミ民泊」が横行。
 - *住宅宿泊事業法（民泊新法）は住居専用地域での営業を認め、フロントを不要とする一方、営業日数を年間180日以内に限りまし。
 - *特区民泊は通年営業が認められています。

(2025年7月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(6) 平均寿命、2024年は横ばい

日本人 女性は世界1位を維持

*2024年の日本人の平均寿命は女性が87.13歳、男性が81.09歳。前年比で横ばい。

*女性は40年連続で世界1位。

*国別で男性は5位から6位に。

(2025年7月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(7) 日本の夏 蒸し暑さ熱帯級

東京の湿度 バンコク超す

気象データ分析 海が温暖化、列島に水蒸気

*日本の真夏の「蒸し暑さ」が一段と厳しくなっています。

*主要都市の湿度が近年急速に高まっています。

*東京の湿度は熱帯性気候のタイ・バンコクをも上回ります。

*背景には水蒸気量の急増があります。

*海の温暖化が影響しています。

*日本近海の平均海面水温は2024年までに100年あたり1.33度の割合で上昇。

*世界平均の2倍を超えるペースで温暖化が進みます。

*高温になった海は列島に水蒸気をもたらします。

*気温上昇で空気を含むことができる水蒸気量が増えていっても、それを上回るスピードで大量の水蒸気が流れ込んでいます。

*これが湿度を大きく押し上げている要因。

*水蒸気は熱を閉じ込める「温室効果」の性質を持ちます。

*蒸し暑さを示す「不快指数」も増加傾向。

(2025年7月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(8)  **水難事故 昼過ぎに多く 25%が午後2～3時台**
疲れ・暑さ・食後の気の緩み・・・

- *国内の水難事故は午後2～3時台に最も多く発生。
- *疲れや暑さ、昼食後の気の緩みが影響。
- *川で流されたら足を水面から出します。水中の岩や木に当たると危険。
- *2024年に水難事故に遭ったのは1753人で、過去10年間で最多。
- *このうち約半数が死亡・行方不明。
- *発生時間が判明しているもののうち全体の約25%が午後2時～3時台に集中。
- *水難事故を起こしやすい年齢は、親から離れて活動するようになる7歳と、友人同士で活発に行動するようになる14歳くらいの時期。
- *海岸から沖に向けて生じる「離岸流」によって沖に流されそうになった場合は、海岸と平行に泳いで離岸流から抜け出した後に岸へ戻るのが望ましいです。
- *川では、水面は穏やかに見えても川底に引き込むような流れがあります。
- *①もし流れに足を取られても無理に立ち上がろうとせず、足を下流に向け、爪先を水面に出して浮くようにします。
- ⇒②流れの穏やかな場所を見つけ、上流に向かって斜め45度の角度を意識して、一気に岸へ向かって泳ぎます。

(2025年7月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(9)  **とび職や鉄筋工 賃金の通報窓口**
基準と比べ不当に低い時 国交省、2027年度に試験運用

- *国土交通省はとび職や鉄筋工など建設業で働く労働者が適正な賃金を受け取っていないと感じた場合の通報制度を設けます。
- *2027年度にも試験運用を始めます。
- *2025年12月に建設従事者の労務費の基準を示すのに合わせ、処遇改善の実効性を確保。
- *極端に待遇が低い場合、国や関係機関が雇用主となる建設業者の取引状況などを調査。
- *法令違反が疑われれば、建設業者には是正を指示したり発注者に勧告したりします。
- *建設会社が賃金や労働時間を申告し、一定水準以上なら、「優良事業者」に認定する制度も2027年度までに検討します。
- *建設業の就業者のうち29歳以下の割合は2024年に11.7%。全産業は16.9%。

(2025年6月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)